

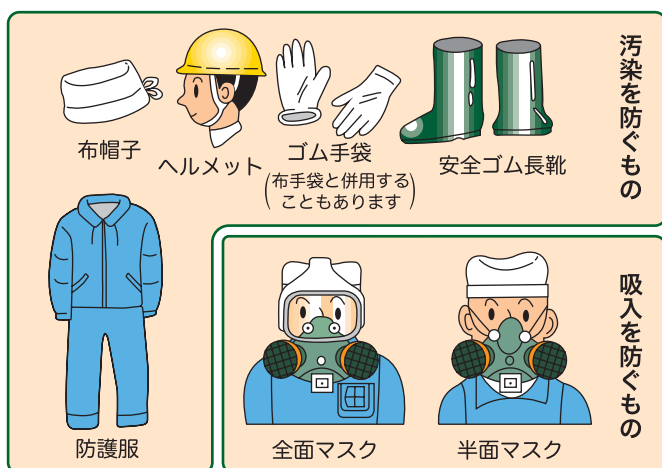
防護資材あれこれ

原子力発電所で事故が発生した際に、防災活動に携わる人たちの被ばくを軽減するために使用する防護装備や測定機器を紹介します。

第1回 防護装備とアラームメータ (警報付電子ポケット線量計)

1 防護装備

原子力発電所の事故時においては、緊急時環境放射線モニタリングなどの防災活動に従事する人たちは、作業中に受ける被ばく線量をできるだけ少なくするため、防護服や防護マスクなどの防護装備を着用します。防護服そのものには放射線を防ぐ能力はありませんが、放射性物質の衣料及び体の表面への付着を防止します。また、防護マスクには吸入による内部被ばくを防ぐため、放射性ヨウ素を吸着できる活性炭フィルターが備えられています。



■防護装備の一例

対象	防護装備の種類
頭部	作業帽 (布製・ビニール製)、ヘルメット等
身体	上下つなぎ服、ビニール製防護服など
手	布手袋、ゴム手袋など
足	作業靴、オーバーシューズ、ゴム長靴など
呼吸保護具	半面マスク、全面マスクなど

2 アラームメータ (警報付電子ポケット線量計)

アラームメータとは、個人の外部被ばく線量を測定するための小型携帯用放射測定器のことをいい、あらかじめ設定したレベルになると警報を発します。胸または腹部につけ、外部被ばく線量が国で定める数値 (実効線量で 50mSv (ミリシーベルト)) を超えることがないように管理します。



アラームメータ (電子ポケット線量計)

